
編集後記

平成最後の発刊となる「第12巻」では、在宅医療にフォーカスを当て、京都府内の中部・北部地域における在宅医療の課題について様々な立場から問題提起を頂きました。共通課題は「医療資源の不足」であり、限られた資源で広大な面積を有する中部・北部地域の在宅医療を支えていくためには、専門職同士だけではなく、更なるその輪を広げた地域までも巻き込んだ取り組みが必要です。そのためには、小児から高齢者に至る在宅療養者の方々に関わる多くのスタッフの気持ちや意識が「correspond」（調和）し、交わっていくことが大切であるということを改めて認識することができました。

皇太子さまが御即位される5月1日には改元が行われます。我が国1番目の元号「大化」の飛鳥時代から1300年以上という長い歴史を経て、5月1日には248番目となる新しい元号に変わります。一つ一つ時を重ね、世界でも類を見ないほどの長い歴史を誇る日本が、これからも豊かな国であるよう、我々国民一人一人が互いに“調和”することが大切であると心に刻みながら歩んでいきたいと思う所存である。

平成31年1月23日

京都在宅リハビリテーション研究会 世話人代表 木村篤史

京都在宅リハビリテーション研究会誌

第12巻

平成31年2月4日 発行

編集者

京都在宅リハビリテーション研究会事務局

(木村篤史, 永山智貴, 小西倫太郎, 神田佳明, 森川重幸, 堀田直樹,
浅野翔平, 村富渚, 中島隆輔, 大前桂子)

発行者

木村篤史

〒629-0392 京都府南丹市日吉町

明治国際医療大学附属病院 総合リハビリテーションセンター

Tel 0771(72)1221